第5章 水道の理想像と目標設定

5.1 水道の理想像

私たちにとって望ましい水道とは、「時代や環境の変化に対して的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道」といえます。そして、このような水道を実現するためには、水道水の安全の確保、確実な給水の確保、供給体制の持続性の 3 つが必要です。

新水道ビジョンでは、水道水の安全の確保を「安全」、確実な給水の確保を「強靭」、供給体制の持続性の確保を「持続」と表現し、これら 3 つの観点から、50 年後、100 年後の水道の理想像を具体的に示し、これを関係者間で共有することとしています。

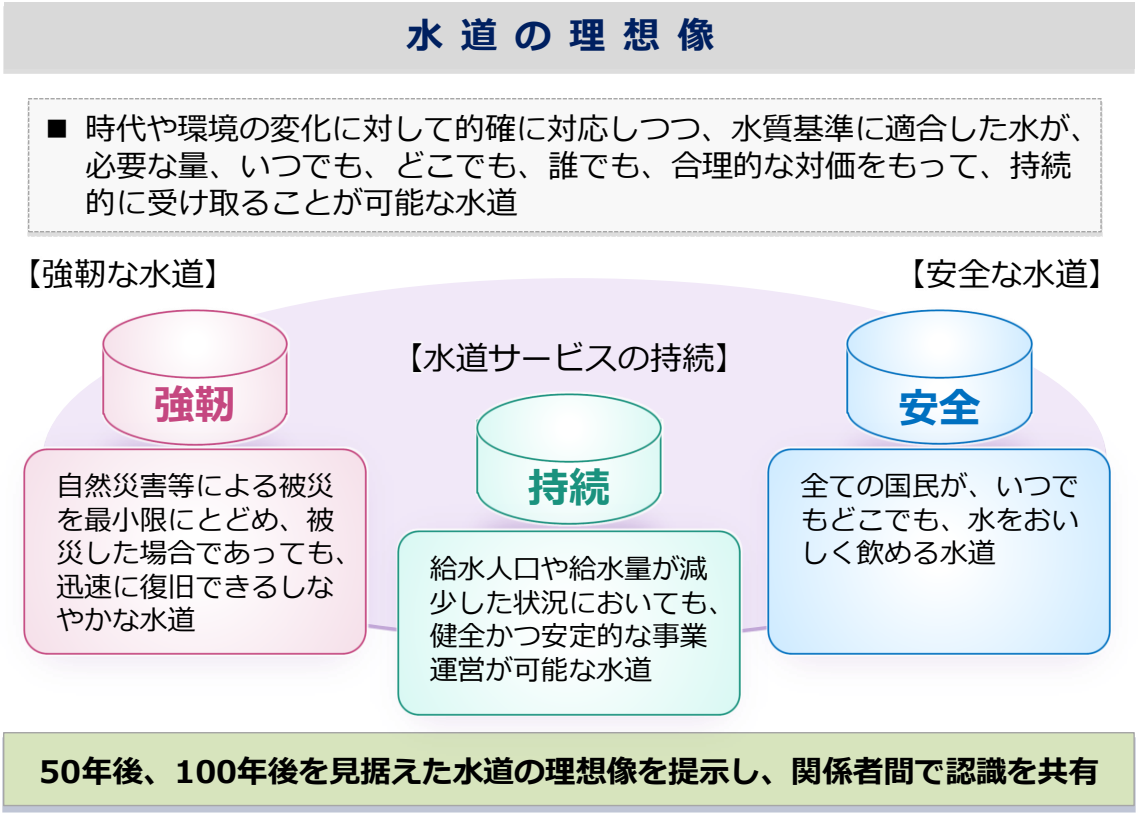

図 5.1.1　厚生労働省が掲げる水道の理想像

5.2 市営水道の目標設定

成田市水道事業ビジョンにおける市営水道全体での目標設定について、基本理念、基本方針、施策を図 5.2.1 に示します。

基本理念は、市民にいつまでも安全・安心な水をお届けして暮らしを支えていくことを理想とし、「住んでよし　安全・安心な水を未来へつなぐ成田の水道」を掲げます。

基本方針については、水道の理想像である「持続」、「安全」、「強靭」の観点から、それぞれ「いつまでも市民とともにある水道」、「安心して市民が利用できる水道」、「災害に強い水道」として、第 3 章で抽出された具体的課題を基に施策を設定しました。

図 5.2.1　成田市水道事業ビジョンの体系